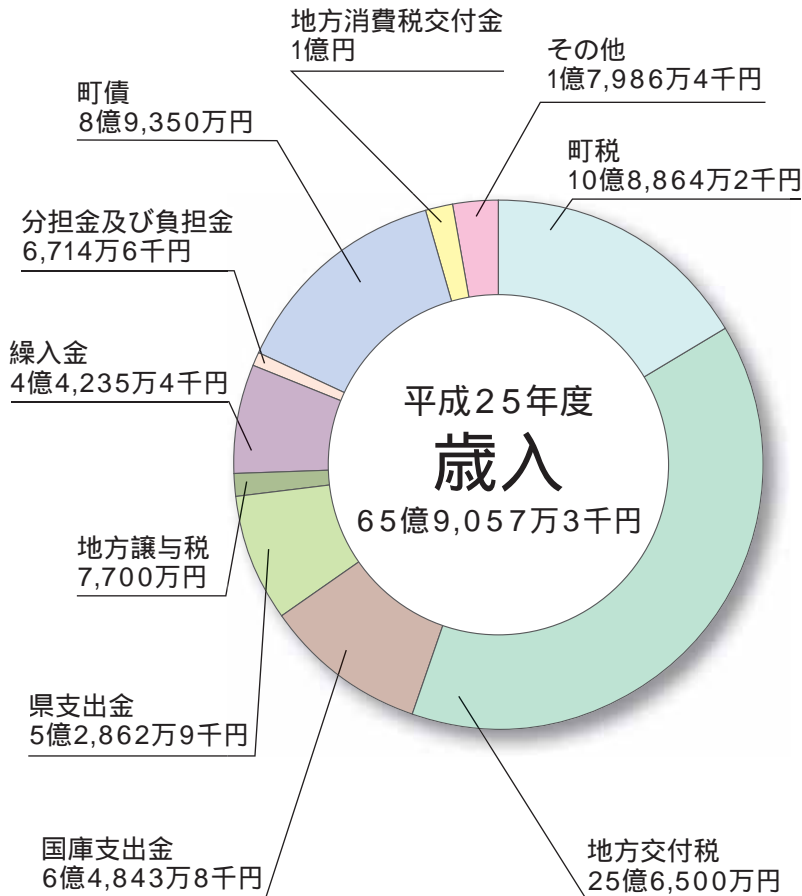


平成25年度大崎町一般会計の予算額は 65億9,057万3千円です

特別会計を含む予算総額は、110億1,692万9千円



歳入で最も大きな割合を占めるのが、町の財政力に応じて国から交付される地方交付税で25億6,500万円、次に皆様に納めていただく町税が10億8,864万2千円となっており、この2つで歳入全体の55.4%を占めています。

歳出を目的別に見てみると、大きなものから順に民生費（12億1,254万8千円）、衛生費（11億3,481万6千円）、公債費（9億4,359万1千円）、総務費（6億9,536万8千円）となっています。

【歳入の種類】

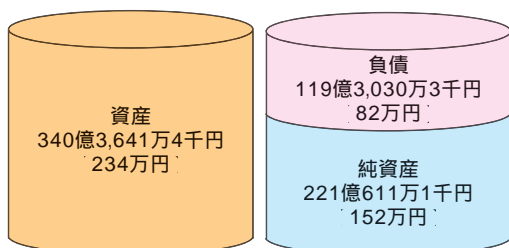
- 町税...住民税や固定資産税など皆様からの税金
- 地方交付税...町の財政状況に応じて国税の一部から交付されるお金
- 国庫支出金...国から支出されるお金
- 県支出金...鹿児島県から支出されるお金
- 地方譲与税...国税の一部が交付されるもので地方交付税とは違い、客観的基準に基づき一律に分配されるもの
- 繰入金...基金などからの収入金
- 分担金及び負担金...特定の事業で利益を受けた人から徴収したお金
- 町債...国や銀行からの借入金
- 地方消費税交付金...消費税5%のうち1%が一定の基準により町へ交付されるお金
- その他...使用料、手数料、財産収入など

財政分析

大崎町全体のバランスシートを住民1人あたりにするとどうなる？

バランスシート（連結貸借対照表）

【平成23年度連結決算によるものです】



()は住民1人あたり

バランスシートとは？
民間企業で使われる財務指標のひとつであり、資産や負債などの状況を総括的に表示したものです。

住民1人あたりの
バランスシート



借方	貸方
(固定資産や株、預金などの資産がどれだけあるか)	(資産を手に入れるために払ったお金と借金)
【公共資産】 土地や建物などの固定資産	【負債の部】 資産を取得するための借金
202万7千円	82万円
【投資等】 出資金など	【純資産の部】 資産を取得するための返済義務を負わない資金
9万9千円	152万円
【流動資産】 現金・預金	
21万4千円	

大崎町が、これまでに整備してきた道路や公共施設などの資産総額は、340億3,641万4千円で、住民1人あたりで234万円あります。

また、資産を作るために使われたお金の中で、最も大きいものは税金などの収入ですが、町債などの借金も住民1人あたりで82万円あります。